

4407 ママチャリ日本縦断の旅：都会か 地方か 115

生活するのに、どこがいいのか。やはり、施設の整った都市がいい、という人。

地方がいい、という人、選べない人もある。年代にもよる。

一生、生きていくのは、大変なこと。徳川家康の言葉を思い出す。不自由を常として・・・

遠き坂道^{のぼ}を上るが如し。人生後半、世の中を知らないことには始まらないと、

マイナスゼロでなく、プラスゼロからのスタートだった。

運が良かったのだろう。当初、自分の意思でなく、偶然、時代の流れで、制約からの脱出。

今、何でもない、広大な緑の田園風景に感動している。



生まれた時は、裸。50歳からの再スタートの動機。**夢でスタート。**
ロマンで進展、**厳しい現実との遭遇。**ひとり旅は、**気づきと発見と学び。**実践して良かった。
得るもの、失うもの。今回の旅のスタイルは、格差が大きいのを**覚悟**して。
暑さや、厳しさに、**文句を言える立場にない。**そう言い聞かせて、ひとり旅を継続。
やがて全国に4万社ある八幡様三大本宮の一つ、**宇佐神宮。**石清水八幡宮、鎌倉鶴岡八幡宮。
友人もいて、八幡様はご縁が深い。宇佐神宮の案内板があったのだが、
ママチャリ自転車では、なかなか進まない。喫茶店との出会い。かき氷を注文。

